

# 環境とともに

ワタミグループは、環境宣言「美しい地球を美しいままに、子どもたちに残していく」を実現するため、環境(エコロジー)と経済(エコノミー)の両立(W-ECO)を目指し、環境活動を実践しています。



2010年5月には、過去の取り組みの評価と今後への期待から、環境省より「エコ・ファースト企業」の認定を受けました。

## ワタミグループのこれまでの主な環境活動

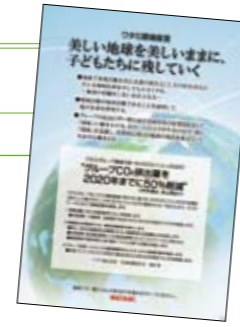
ワタミグループでは、1999年の外食産業初のISO14001取得以来、環境宣言「美しい地球を美しいままに、子どもたちに残していく」のもと、様々な環境保全活動を行ってきました。

環境宣言を実現させるための長期的な目標として、2009年10月「W-ECOビジョン2020」(2020年グループ環境負荷(CO<sub>2</sub>)を50%削減(2008年度比、売上高当たり))を掲げました。

「エコ・ファースト企業」に認定されたことから、2012年までの社会に対する必達目標として、「エコ・ファーストの約束」を宣言しました。

### ■環境活動年表

- 1999年 外食産業初ISO14001認証取得  
「ワタミ環境宣言」を発表
- 2002年 リサイクルセンター設立 首都圏リサイクル開始
- 2003年 首都圏200店舗に生ゴミ処理機導入
- 2004年 WEM(ワタミエネルギー・マネジメント)システム導入
- 2006年 森づくり活動の開始
- 2007年 NPO法人「Return to Forest Life」設立
- 2008年 「環境宣言2008」策定  
「W-ECOビジョン2013」策定
- 2009年 LED照明を導入した外食店舗がオープン  
日本酒ビンリユースの開始(首都圏400店)  
「W-ECOビジョン2020」策定
- 2010年 環境省「エコ・ファースト企業」認定  
社員の環境負荷削減のため「エコ夢カード」発行  
環境省・農林水産省認定「リサイクルループ」をスタート  
環境家計簿入力サイト「エコ夢サイト」を開設
- 2011年 環境配慮型介護施設がオープン  
「夏の節電についてのエコ・ファーストの約束」を宣言
- 2012年 風力発電事業への参入



## ワタミグループが取り組んでいる環境活動

ワタミグループは、各事業ごとに様々な環境活動を実施しています。今後も、これらの活動のさらなる推進を行い、「エコ・ファーストの約束」、「W-ECOビジョン2020」の達成を目指していきます。

### ■「エコ・ファーストの約束」の具体的な活動内容と取り組み状況(○が活動内容に取り組んでいる事業)

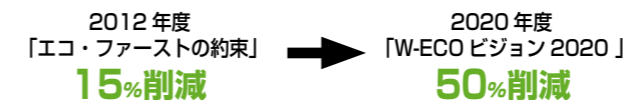
テーマ	活動内容	参照	外食事業	介護事業	宅食事業	MD事業	農業	環境事業
エコ・ファーストテーマ1 事業活動でのCO <sub>2</sub> 削減	新規外食店舗・介護施設へのLED照明の導入	P46 ①	○	○				
	環境配慮型介護施設建設	P46 ②		○				
	外食店舗・介護施設でのムダ電気削減	P46 ③	○	○				
	ロス率削減		○			○		
エコ・ファーストテーマ2 環境改善事業の強化	ISO14001の強化		○	○		○	○	○
	リサイクルループの構築	P46 ④	○				○	○
	日本酒空きビンのリユース	P46 ④	○					○
エコ・ファーストテーマ3 社員行動でのCO <sub>2</sub> 削減	有機野菜の圃場の拡大						○	
	エコキャップ活動		○	○	○	○	○	○
	「エコ夢サイト」への記入	P47 ⑤	○	○	○	○	○	○
エコ・ファーストテーマ4 環境保全活動の応援	本社ビルキャノピースイッチ導入	P47 ⑥	○	○	○	○	○	○
	本社ビルでの紙削減の取り組み	P47 ⑥	○	○	○	○	○	○
	「ワタミの森」の活動を支援		○	○	○	○	○	○
	介護施設で間伐材を使用	P47 ⑦		○				
エコ・ファーストテーマ4 環境保全活動の応援	「ライトダウンキャンペーン2012」への参加	P47 ⑧	○	○	○	○	○	○
	「アースデイ2012」への参加	P47 ⑧				○	○	
	カーボンオフセットカクテルの販売	P47 ⑨	○					

## CO<sub>2</sub>排出量を19%削減

ワタミグループは、2011年度、CO<sub>2</sub>排出量11%削減(2008年度比、売上高当たり)の目標に対し、各事業施設において、ムダな照明やエアコンの電源をオフにするなどの取り組みを行い、19%の削減を達成することができました。

「エコ・ファーストの約束」では、この排出量を15%削減することを約束しており、「W-ECOビジョン2020」では50%削減するという長期的な方針を掲げています。

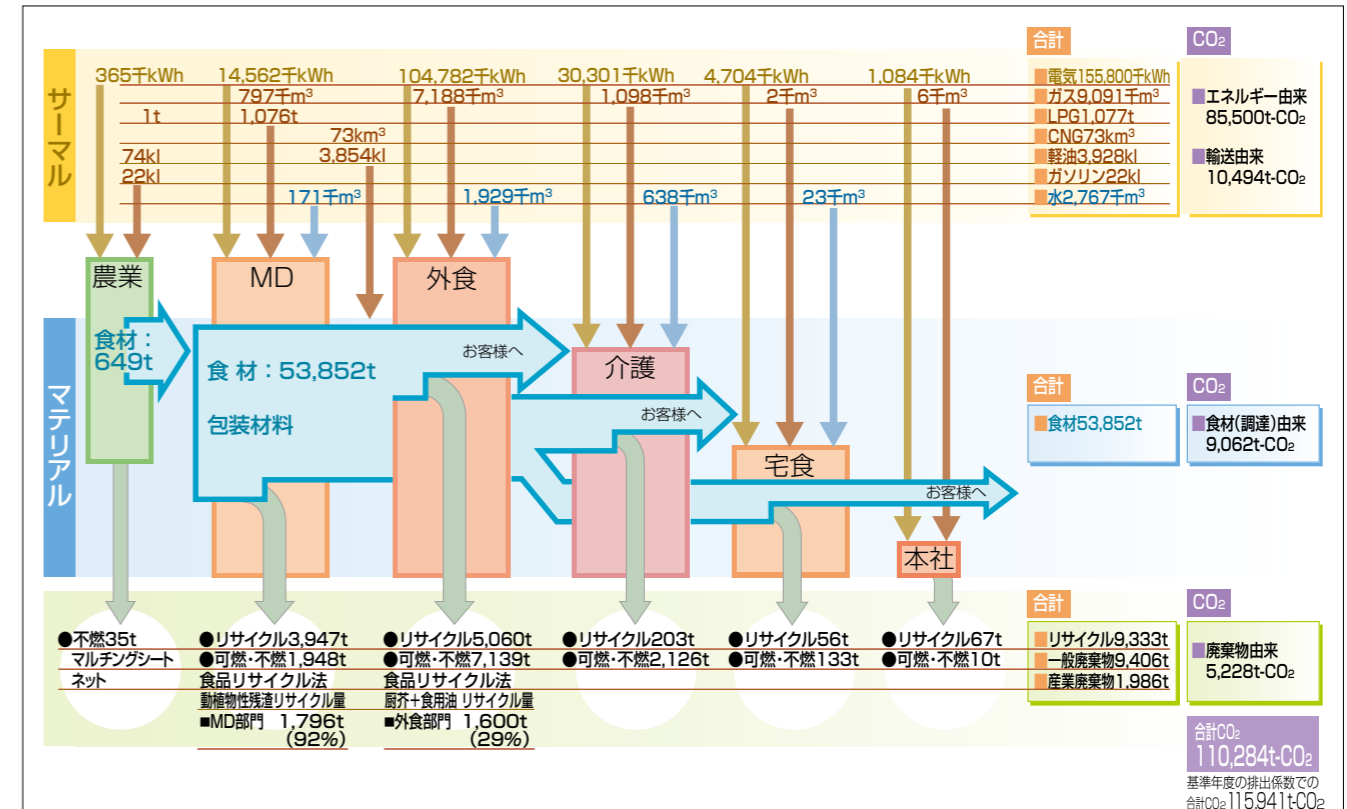
### グループCO<sub>2</sub>排出量削減目標



## ワタミグループの2011年度の環境負荷

ワタミグループ全事業(外食、介護、宅食、MD、農業、環境)の2011年度の環境負荷は下図の通りです。

### ■ワタミ マテリアル&サーマル・フロー



【注意書き】①CO<sub>2</sub>の排出係数は次の通り設定しています。(毎年度変更となる数値です。努力値を見るために、基準年度である2008年度の排出係数を用いて算出した数値も掲載しています。) ■2011年度算出係数/電気量: 0.385 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh)、都市ガス: 2.28(kg-CO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>)、水: 0.58 (kg-CO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>)、一般廃棄物: 0.0175 (kg-CO<sub>2</sub>/kg)、産業廃棄物: 2.55 (kg-CO<sub>2</sub>/kg) (共通) ■2008年度算出係数・電気量: 0.421 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh)、都市ガス: 2.08(kg-CO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>)、水: 同上 ②表記の数値は、年間総計を示しています。(2011年4月1日～2012年3月31日) ③外食店舗における投入量(INPUT)は、以下の方法により算出しています。■エネルギー由来/●電気: WEM導入店舗(236)の平均単価(円/kWh)を用いて、経理支払い金額(円)を除いて算出しています。●ガス: 329店舗の検針数値(m<sup>3</sup>/店舗)を用いて、店舗数を乗じて算出しています。●水道: 請求書から399店舗の平均使用量(m<sup>3</sup>/店舗)を用いて、店舗数を乗じて算出しています。■輸送由来/対象範囲はワタミファーム→MD、MD→外食店舗・介護施設・宅食営業所としています。■食材(調達)由来/主たる食材である肉類の国内外比率を代表数値として用い、全使用食材の総量を按分した数値に移動距離を乗じて算出しています。④外食店舗における排出量(OUTPUT)は、2010年度の定期計量数値の平均を使用しています。⑤介護施設における排出量は、2011年度の平均排出量(kg/人)を用いて、ご入居者様数を乗じて算出しています。

環境とともに

エコファースト  
テーマ1 事業活動でのCO<sub>2</sub>削減

外食店舗でのLED照明利用拡大 ①

ワタミグループは、Restaurant & American Bar「T.G.I. Friday's®」と語りい処「坐・和民」の国内全店舗において、LED照明を導入しています。これにより、従来照明による電気使用量の約90%を削減、LED導入店舗全電気使用量の6%に相当する1,802t-CO<sub>2</sub>の削減を達成することができました。

現在は、その他の業態でも新規出店や改装の機会にLED照明を導入しています。

環境配慮型介護施設がオープン ②

ワタミの介護は、2011年9月、ワタミの介護初の環境配慮型介護施設「レストヴィラ弁天町」を大阪市に開設しました。CO<sub>2</sub>削減のため、屋上には庭園、農園、太陽光パネルを設置、内装にはワタミの森の間伐材を利用し、リビングダイニングにはペレットストーブを設置しました。また、電気自動車も導入しました。



屋上庭園



太陽光パネル

エネルギーマネジメントシステムの活用 ③

ワタミグループ外食店舗では、使用電力を一元管理するモニター機器（いつ・どこで・どのくらい電気が使われているのかを計測する電力監視システム）を導入し、営業時間外・営業時間中のムダ電気の削減に活用しています。2012年3月末現在、236店舗に導入しています。

ワタミグループは応援します。  
「Return to Forest Life」の支援



ワタミグループは、NPO法人 Return to Forest Life を支援しています。現在、ほぼ全社員が会員となり、活動を強化しています。  
▶ 活動内容は、P50～51をご覧ください。

ワタミグループの支援内容

- 環境マネジメントグループによる事務局業務のサポート
- 株主総会（経営説明会）におけるブース出展スペースの提供
- 全体会議および研修会における取り組みの説明機会の提供
- 活動報告月刊誌「RFL通信」の発信
- 外食店舗にて対象となるカクテルの販売収益の一部を寄附…2011年度寄附金額 2,331千円

外食店舗での節電の取り組み ③

ワタミグループ外食店舗では、2011年度より、CO<sub>2</sub>排出量を削減するために「環境改善項目」を設定し、節電に取り組んでいます。

環境改善項目

- エアコンフィルター月の1回の清掃
- 厨房の給排気フィルター月の1回の清掃
- 使用しないジョッキクーラーの電源OFF
- 不要な冷蔵庫の使用停止
- 営業時間外の空調の電源OFF
- 営業時間中の空調温度をお客様の快適な温度に調節
- 営業時間外の作業エリア以外の消灯
- プライベートルームの不使用時の消灯
- 給湯器の温度調整（夏場36度、冬場38度）
- 冷機器のフィルターの月1回の清掃

これらを徹底させるため、各外食店舗には「改善マニュアルビデオ」を用意し、すべての従業員に取り組み内容の浸透を図りました。2011年度は、電気使用量2008年度比11%削減という目標に対し、18.4%の削減を達成することができました。

2012年4月からは、専任者が外食店舗を巡回し、店舗での取り組みを支援・指導しています。これらの取り組みを通し、2012年度は、電気使用量2008年度比20%削減を目指します。

エコファースト  
テーマ2 環境改善事業の強化

ワタミエコロジーを推進役とした取り組み ④

ワタミグループは2009年10月より、ワタミエコロジーを中心として、ビンの廃棄量抑制のため、日本酒の空ビンリユースに取り組んでいます。また、2010年6月より、外食店舗から排出された生ゴミをリサイクルループで堆肥化し、ワタミファームの土壌を潤し、有機野菜となって戻ってくる循環型社会の取り組みを本格的に稼働させています。

▶ 詳細は、P30～31をご覧ください。



エコファースト  
テーマ3 社員行動でのCO<sub>2</sub>削減

「エコ夢サイト」を活用したCO<sub>2</sub>削減 ⑤

「W-ECOビジョン 2020」で設定した、社員の生活のCO<sub>2</sub>排出量を2020年度までに30%削減（2010年度比（※））するという具体的な目標達成のため、2010年度に「エコ夢カード」を全社員に配布、さらに同年度、より効率的に社員のCO<sub>2</sub>排出量を把握するための環境家計簿「エコ夢サイト」を開発し、グループ全社員に、日々の生活でのCO<sub>2</sub>排出量（電気、ガス、ガソリン）を毎月入力するよう呼びかけています。2012年3月末現在、登録率は100%、入力率は約83%となっています。

この取り組みにより、一人ひとりが具体的に活動目標を設定できることを目指しています。

（※）エコ・ファーストの約束では、事業由来のCO<sub>2</sub>削減の目標に合わせて、2008年度比としていましたが、エコ夢カードで一人ひとりのCO<sub>2</sub>を把握し始めた、2010年度を基準年度と変更します。



エコ夢サイト

エコ・ファースト表彰

ワタミグループは、毎年3月に行われる全体会議にて「エコ・ファースト表彰」を行っています。これは、他の模範となるような取り組みを行った外食店舗および介護施設と、「エコ夢サイト」に入力されたデータをもとに社員を表彰する制度です。

2011年度は、電気使用量2010年度比34%削減を達成した、居食屋「和民」大船モノレール店、電気使用量2010年度比20%削減を達成したレストヴィラ古淵、ワタミグループの一人あたり平均CO<sub>2</sub>排出量に対して、70%の削減を達成した社員を表彰しました。

本社での取り組み ⑥

節電

ワタミグループ本社ビルでは、2010年6月より、全館の蛍光灯にキャノピースイッチを設置しています。また、夏場の室温28℃の厳守、19時以降のエアコンの使用中止、エレベーター使用の制限、クールビズの徹底、待機電力の削減、夜間・休日の不使用電気削減などを行い、電力、電気使用量の削減に取り組んでいます。2011年度は、前年使用量に対して、24.1%の削減を達成できました。

紙削減

ワタミグループ本社ビルでは、複合機を削減するなど、紙使用量の削減に取り組んでいます。

2011年度は、2008年度比30%減となりました。2012年度は、複合機にIC認証カードを導入し、ムダな印刷を防げるよう取り組んでいく計画です。

エコファースト  
テーマ4 環境保全活動の応援

ワタミの森の間伐材の活用 ⑦

ワタミの介護施設では、内装の建材として、積極的にワタミの森の間伐材を活用しています。また、レストヴィラ弁天町、レストヴィラ元住吉では、ペレットストーブを導入し、燃料となるペレット材として、ワタミの森の間伐材を活用しています。



ペレットストーブ

環境イベントへの参加 ⑧

ワタミグループは、2007年以降、環境省主催の「ライトダウンキャンペーン」に継続して参加しています。2012年度は、夏至の6月21日と、七夕の7月7日の両日、20時から22時に亘り、外食店舗の看板（一部、消灯ができない店舗を除く）と、介護施設の外灯看板（外灯看板がない場合は、駐車場・玄関などの照明）を消灯しました。

また、「アースデイ」にも毎年継続的に参加しています。2012年度は4月21日、22日の2日間に亘り、ワタミファームや契約生産者様が栽培された有機野菜や、特別栽培農産物などを販売しました。



ライトダウンキャンペーンに際し、作成したポスター

「カーボンオフセット付きカクテル」の販売 ⑨

WFSは、2009年9月より「カーボンオフセット付きカクテル（※）」を販売しています。「カーボンオフセット付きカクテル」は、販売数に応じて「カーボンオフセット」やNPO法人への寄附をさせていただくカクテルです。このカクテルの売上げの一部により国内のCO<sub>2</sub>削減プロジェクトを支援することになります。

2011年度は、160,766杯を販売し、160tのカーボンオフセットを実施しました。

販売収益の一部は、NPO法人 Return to Forest Lifeに寄附しています。

※ 2012年10月をもちまして、販売を終了いたします。